

事業提案書

団体名	環東鳥海山活性化プロジェクト		事業区分	ソフト		
事業名	地場産業を活用した地域活性化事業		継続事業	2 年目		
実施期間	令和 7 年 6 月 1 日から 令和 年 月 日まで					
補助対象経費	450,000 円	補助金申請額	405,000 円			
事業目的	課題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) 地域の高齢化や人口減少が進み、三関地区や須川地区が単独で地域づくりをしていくのは今後難しくなると思われる為、地域間の連携が必要				
	目的	(課題の原因を解決する目的はなにか) 地域間交流を促進するため、お互いの地場産業を活用した事業を行う ピザ窯や地産地消ピザの制作をきっかけとして、若い世代が地域づくりに興味を持てるようにする 各イベントを通して、須川三関地区の人の交流を活性化する				
事業内容	対象	(事業の対象となるのは誰か) 地域住民等				
	内容 (流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) 地域の農産物を使用した「地産地消ピザ」を開発し、各イベントへ出店しPR活動をする 自主イベントの開催 (なべっこ遠足、学校の桜の花見、須川三関小150周年イベントなど) 防災キャンプ等の自主防災活動の取り組み ピザ窯の作成状況やピザの開発状況、各季節における農産物の育成状況などをHP、SNS、youtube等で発信する				
	目標と計画	1 年目	目標	地域づくりに関わる人数を増やす	目標の根拠	地域間交流促進のため
		2 年目	目標	登山イベント参加者を募る	目標の根拠	他地域へのPR活動
			計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 東鳥海山登山イベントの開催（または共催・後援） 登山愛好家を誘致し、湯沢のPRイベントを開催 地域住民が防災を意識できるように防災キャンプ等の開催 小学校の花見イベントを計画し実施。周知を図る。		
		3 年目	目標	近隣地区との連携を図る (高松や小野など)	目標の根拠	地域間連携の拡大
計画			(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 積極的にイベントへ参加し、PR活動 ネットショップ等を活用した新たな販路の開拓 他地域と連携するために、交流事業をおこなう			
～5 年目	目標	地域間交流のさらなる促進	目標の根拠	目的達成のため		
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 3年間の経験を他地域の活性化にも活用したい 地域づくり協議会との連携を深め、各イベントを成功させる				
規制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 人を誘致する場合、旅行業法に抵触する可能性 → 旅行者への委託も検討 食品衛生法上の問題 → 有資格者の育成や場所の確保					

(裏面)

	期 間	内 容	担当者		
事業スケジュール	6月 中旬	～	7月 下旬	移動ピザ窯・地産地消ピザの作成・開発	
	6月 中旬	～	7月 下旬	東鳥海山登山イベントの発信・活動	
	8月 月上旬	～	8月 下旬	須川・三関の夏祭りへの出店	
	9月 月上旬	～	9月 下旬	防災イベントの計画	
	10月 月上旬	～	11月 下旬	防災イベント&なべっこ遠足の開催(火おこしを踏まえ 防災活動へ取り入れる)	
	3月 月上旬	～	4月 下旬	三関・須川小学校等の花見イベントの準備・実施	
	月 月上旬	～	月 下旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
	月 旬	～	月 旬		
住民参加	(事業に対し、どのように住民が参加できるか) ピザのアイデアの募集 イベントでのピザ焼き体験 各農家から農産物調達 常設ピザ窯の開放(誰でも自由に使えるように) 防災イベントに参加し防災の知識を得る				
事業のアピール点	(地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか) セリ・ひろっこ・さくらんぼ・石材業と特徴的な地場産業が発達している地域 それぞれ単独での知名度はあるが、まとめて「売り込む」ことはあまりしてこなかった 若い就農者が多いのも特徴 移動の窯を利用した住民を対象とした防災イベントの開催 若い力、行動力、自由な発想を活かした事業展開が可能				

※記載欄の過不足は適宜調整してください。